

高島公民館だより

2025年 6月号 2025.5.21 (文責：高木)

高島公民館
(アイリッシュパーク内)
〒520-1121
高島市勝野670
TEL 36-0219
FAX 36-1909
t-kominkan@city.takashima.lg.jp



大溝祭り 宵宮

本年も滋賀県の選択無形民俗文化財に選定されている湖西随一の曳山祭り、大溝祭りが好天の下、開催されました。3日には幻想的な宵宮巡行、4日には勇壮な本祭が執り行われました。たくさんの方が参加され、観光客も多かったように感じました。

5月3日は日本国憲法が制定されて78回目の憲法記念日でした。「基本的人権の尊重」「国民主権」「平和主義」が憲法の柱であり、一人ひとりが主人公であることは、いうまでもなく知られていることです。憲法には、人権と平和を守るために私たちが絶えず努力しなければならないことが求められています。

5月15日付朝日新聞一面のコラム『折々のことば』(哲学者：鷲田清一氏による)に、

『ぼくは在日関西人』と名乗る趙博さん(元予備校講師のミュージシャン)の「差別を受ける人は、悔しくて泣きながらも、闘うより先に別の道を考える。差別のない場所を探す。しかし、社会の体制が非人権的である限りは逃げようにも逃げられない。人権問題は差別をなくそうという申し合わせではなく、国の成り立ちや原則が、人権に沿っているかの問題だ」ということばが掲載されていました。非常に厳しいことばで、はっとさせられました。7月27日にはこのアイリッシュパークで高島市人権教育研究大会が、11月15日・16日には、今津の高島市民会館を中心に滋賀県人権教育研究大会が開催されます。12月には高島公民館で、高島地域人権学習会を予定しています(期日未定)。一人ひとりが主人公の人権が尊重されるまちづくりをめざして行動していくことが大切だと考えます。

高島公民館教室・講座のスタートです！

～ たくさんの方に応募をしていただき、ありがとうございました ～

子ども書道教室



本年度の高島公民館教室・講座では、昨年度から引き続いて開催するものがほとんどですが、それぞれ工夫を重ね、内容を充実させてよりよい教室・講座をめざしています。希望の多い「初めてのピラティス教室」は水曜日コースと土曜日コースに分けて実施し、受講しやすくなっています。また、「探訪・高島の歴史と文化」は定員を超えて希望者が多く、受講歴の多い方による抽選をして、受講者を決定させていただきました。

さっそく、5月20日(火)には、子ども書道教室を開講しました。本年度も硬筆は白井洋子氏と水谷とし江氏、毛筆は白井洋子氏にご指導いただきます。子どもたちが一生懸命に取り組み、どんどん字が上達することを願っています。

2025高島公民館 教室・講座名	受講者
探訪・高島の歴史と文化	26人
想いを伝える!みんなの話し方教室	10人
初めてのピラティス教室①水曜日コース	26人
初めてのピラティス教室②土曜日コース	22人
土と遊ぶ 高島陶芸教室	14人
子ども書道(硬筆)教室	37人
子ども書道(毛筆)教室	29人

びわ湖国際フルートコンクール フルートの音色に酔いしれました！

5月3日～5日
ガリバーホール



一般部門第3次予選から

今年も恒例の国際色豊かなフルートコンクール(世界6か国からの参加)が開催されました。世界的にも認められた一流のコンクールで、参加者の皆さまの意気込みと熱気がアイリッシュパーク全体に広がり、聴衆はフルートの音色に聴き入りました。

ジュニア部門と一般部門で予選・本選が実施され、特に一般部門は4段階の厳しい審査があり、5日には入賞者が決定し、表彰式がありました。一般部門第1位にはSeoyeongYoonさん(韓国)、ジュニア部門第1位は長谷川釉己さん(静岡県)が受賞されました。表彰式で大友審査委員長は「今年は参加者のレベルが高く、始まって以

来の水準の高さであった。みなさんの演奏の姿が素敵であった。一番大切なことは譜面をしっかり読むこと。聴き覚えではなく、自分の目で読む。聴衆の心をつかみ、包み込む演奏、自分が納得できる自分らしい演奏を、自分らしく生きることが大事である」と生き方にまで言及して講評され、感銘を受けました。



表彰式一般部門 第1位 SeoyeongYoonさん

【高島青少年育成学区民会議総会】5月13日（火）から

17名の委員と事務局2名、社会教育課地域連携室からは岸本主監参加のもと総勢20名で総会が開催されました。会長には中村氏が、副会長には福原氏が委員の承認で就任されました。委員自己紹介のあと、議事として令和6年度事業報告及び、活動費決算について、続いて令和7年度事業計画（案）及び活動費予算（案）について検討され、承認されました。

意見交流では、地域における体験的活動を企画して募集するが、高島市の「よえもん道場」や高島地域の「地域探検隊」等応募が少ない現状について多くの意見が交わされました。チラシ配布の変更やPTA、子ども会の解散等の影響、魅力ある体験活動の企画など、さまざまな要因が重なっていると考えられます。地域学校協働活動との連携や学校ではできない活動が青少年育成学区民会議では可能なこと等、子どもの社会性を身につけ、生きる力を培っていくことの大切さをどのようにアピールしていくかなど今後の課題が浮き彫りになりました。「高島キッズチャレンジデー」にも生かすことができるよう企画をしていきたいと考えます。

おはなしびっくり箱の おはなし会 5月17日（土）10:30～11:00



アイリッシュパーク和室にて、恒例のおはなし会がお子さん10名、保護者の方8名の参加を得てありました。パネルシアターや紙芝居、大型絵本に手遊び歌など短い時間の中にも楽しいお話や歌など盛りだくさんで、お子さんたちは手足を動かしながら、生き生きと見入っていました。「おはなしびっくり箱」のみなさんはいつも計画を綿密に立て、お子さんたちの笑顔が見られるようにとご尽力をいただいています。ありがとうございます。

高島公民館6月の予定

← 大型絵本「ぴょん」の読み聞かせ

【高島図書室から】 36-2160

もう間もなく梅雨の季節になり、蒸し暑い日々が近づいてきました。お日様が覗かない日は気持ちもふさがちになりますが、しとしとと静かに聞こえる雨の音を聞きながら、のんびり読書をするのはいかがですか？

今回は新しく入った本の中から、2冊おススメの本を紹介させていただきます。

『様子を描くことばの辞典』 飯間 浩明／著 ナツメ社

人やものごとの様子を正確に伝えるとき、どの表現を使うのか困ったことはありませんか？

例えば「降り頻（しき）る＝雨が絶え間なく降ること」や「お湿り＝晴天の後の適度な量の雨」など、雨が降る様子を表すことばだけでもたくさんあります。

こちらの本では、皆さんが日頃よく耳にすることばからあまり馴染みのないことばまで、情緒あふれる日本のことばを多数紹介されています。ぜひ豊かな日常表現の参考にいかがでしょうか？

同じ作者の方が監修されている姉妹版『気持ちを表すことばの辞典』という本もございます。こちらもご興味がありましたら、ご覧ください。

『グッナイ・ナタリー・クローバー』 須藤 アンナ／著 集英社

舞台は霧が立ち込める架空の町、チェリータウン。13歳のソフィアは、灰色の町で目立たず俯いて生きていました。支配的な父親と助けてくれない兄、子供を置いて出て行った母親に絶望し、18歳で死ぬことを決め、必死で『いい子』を演じていました。

ある夏の日、町の外から来たナタリー・クローバーという少女と知り合います。彼女の明るく自由な振る舞いに振り回されつつも、その眩しい魅力に憧れるソフィア。

しかし、ナタリーは交通事故の影響で、一週間経つと記憶がリセットされる後遺症があり…

傷ついた二人が次第に心を通わせていく様子に胸を打たれる青春物語です。

お探しの本がみつからない時はお気軽におたずねください。
貸出中の場合は、ご予約できます。



1 日	
2 月	休館日（図書室休み） アイリッシュパーク周辺環境整備作業（文化協会高島支部）
3 火	（図書室休み） 子ども書道（硬筆）教室② 青少年育成学区民会議常任委員会
4 水	
5 木	（図書室休み）
6 金	
7 土	
8 日	ノルディックウォーキング①
9 月	休館日（図書室休み）
10 火	（図書室休み） 子ども書道（毛筆）教室②
11 水	探訪・高島の歴史と文化① 初めてのピラティス教室：水曜日①
12 木	
13 金	
14 土	初めてのピラティス教室：土曜日①
15 日	ノルディックウォーキング②
16 月	休館日（図書室休み）
17 火	（図書室休み） 子ども書道（硬筆・毛筆）教室③
18 水	初めてのピラティス教室：水曜日②
19 木	
20 金	
21 土	みんなの話し方教室① 初めてのピラティス教室：土曜日② おはなし会10:30～11:00（和室）
22 日	ノルディックウォーキング②
23 月	休館日（図書室休み）
24 火	（図書室休み）
25 水	初めてのピラティス教室：水曜日③
26 木	
27 金	
28 土	初めてのピラティス教室：土曜日③
29 日	
30 月	休館日（図書室休み）